

今月のことば

如来大悲の恩徳は
身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳も
骨をくだきても謝すべし
親鸞聖人

照光寺だより

発行
真宗大谷派 照光寺
滋賀県蒲生郡日野町内池655
電話 (0748) 52-2364
有線 2-2384
http://www.shoukouji.net/

報恩講厳修のお知らせ

別紙でもお知らせ
せいたしましたよ
うに、本年の報恩
講を、来る十一月
二・三日の両日に
わたり、門徒中で
勤修いたします。
内申しあげます。

報恩講日時

十一月二日 金
大速夜 法話二席 午後二時
お初夜 法話一席 午後七時半
あさじ 法話一席 午前八時
満日中 法話一席 午前十時
法話 東近江市 五個荘町
行願寺住職 五荘法頭 師

仏婦例会フラワーアレンジメント体験

去る十月八日の 大堀花店さんの
仏婦例会にて、恒 ご協力により、仏
例のフラワーアレ 婦会員の皆さまに
ンジメント体験が それぞれ製作して
行われました。 いただきました。



フラワーアレンジメント体験

仏事のイロハ ～報恩講とは～

報恩講 私たち真宗大谷
は、私た 派の本山、東本願
ち真宗門 寺では毎年十一月
徒にとっ 二十一日、二十八
て最も大 日までの七昼夜に
切で、宗 わたり、御正忌報
祖・親鸞聖人のご 恩講が勤まり、全
遺徳を偲び、浄土 国各地より、ご門
真宗のみ教えを私 徒の方がたがお参
たちにお示しくだ さったご恩に感謝
する法要です。 院では本山の御正
報恩講は、親鸞 忌報恩講の前後に
聖人の没後、門徒 それぞれの寺院に
たちが毎月二十八 おいて報恩講が勤
日の聖人のご命日 まります。
に念仏の集まり また在家門徒の
講を開いたの お内仏の報恩講を
がはじまりといわ び、照光寺のご門
れています。 お敬い」と呼
その後、親鸞聖 徒さま宅にては、
人のひ孫にあた 毎年十月から二月
る、本願寺三代 にかけての時期
覚如上人が、聖人 鎌掛、松尾、内
の三十三回忌に法 池、河原、蔵王の
要の形式を 報恩 講式」とまとめ、
聖人の恩に報いる おいて順次勤ま
集い 講」といっ り、宗祖・親鸞聖
意味で 報恩講 人のご遺徳を偲ば
と名づけられまし せていただいでい
ます。

門徒もの知り帳 ～推進員について～

推進員とは、宗
祖・親鸞聖人の教
えの基礎的な学習
を行い、住職と協
力をして同朋の会
の孤独や不安、そ
れらを仏法 伝さ
まのみ教え)に問
い、自らの生き方
を確認していく場
です。

この推進員の方を
生み出すことを目
的として実施され
ているのが推進員
教育で、真宗大谷
派 お更では全国
的に推し進められ
ている事業です。
役割が 推進員」
の方々に願われて
います。＊ちなみ
に、住職や寺族の
ことは 育成員」
といます。

同朋の会」と
は 月に一度はお
寺でおしゃべり」
をスローガンに、
真宗の各寺院に結
といます。



十一月の行事予定

- 二日(三日) 金(土・祝) 照光寺報恩講
- *二日 金) 大速夜 午後二時
- お初夜 午後七時半
- *三日 土・祝) あさじ 午前八時
- 満日中 午前十時
- 四日 日) 尼講例会 お波え) 午前九時半
- 五日 月) 近江六組声明講習会
- 東近江市・桜川地区 敬円寺にて 午後一時半
- 十三日 水) 推進員前期教習 午前九時半
- 十四日 木) 村井地区お敬い
- 二十日 水) 大窪地区お敬い①
- 二十一日 木) 大窪地区お敬い②
- 二十三日 金) 仏婦班長会 午後八時
- 二十六日 月) 推進員前期教習 午前九時半
- 二十八日 水) お講 当番 照光寺 午前七時半
- 豆永代経法要 午前九時半
- *二十一日～二十八日
- 真宗本願 東本願寺) 御正忌報恩講

後記

今年も境内の蓮如菊が綺麗な花を咲かせてくれました。

報恩講へお参りの際にはぜひ蓮如菊をご覧ください。

